

学校だより



令和 8 年 4 月 30 日
横浜市立二谷小学校
校長 刀根 正秀

「気付き」のチャンス

学校長 刀根 正秀

新緑がまぶしく、さわやかな風が心地よい季節となりました。

新年度が始まって一か月が過ぎました。子どもたちも少しずつ、新しい学年やクラスでの生活に慣れてきた様子が見られます。

朝、校門や横断歩道に立って子どもたちと「おはようございます。」とあいさつを交わしています。お辞儀をする子、笑顔であいさつする子、少し恥ずかしそうにあいさつする子と様々ですが、その子なりの方法で「おはようございます。」とあいさつをしてくれます。とても清々しい気持ちになるひと時です。毎朝、子どもたちの安全を見守ってくださっている保護者・地域の学援隊の皆様、ありがとうございます。

子どもたちは毎日の学校生活の中で、多くのことを学び、経験しながら確かな成長を見せています。学びは教室の中だけでなく、日々の生活のあちこちに広がっていることに気付かされます。

先日、1年生が2年生と一緒に学校探検を行いました。少し緊張しながらも2年生の後に続く1年生の姿、そして「こっちだよ」、「次はここだよ」と声を掛けながら歩く2年生の表情からは、学年が一つ上がったことへの自覚と優しさが感じられました。教える立場になることで、2年生自身も多くのことに気付いたと思います。

中休み、3年生が教室で育てるために、校庭の池でヤゴを捕まえていました。毎日観察を続ける中で、成長の様子や、生き物の特徴に気付いていきます。「昨日より大きくなった」「羽が出てきたよ」といったつぶやき一つ一つが、学びに広がっていきます。

学校生活のさまざまな場面には、子どもたちが成長するための「気付き」のチャンスがあふれています。私たちは、その一つ一つを大切に、子どもたちが自ら学び、考え、次へとつなげていけるよう支えていきたいと思っています。



保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後とも、子どもたちの健やかな成長のために、温かいご支援をよろしくお願いいたします。